

(提案型協働事業 検証シート)

協働事業の概要	事業名称	市内の市民活動団体の情報を共有できるインターネットサイト『市民活動の広場あまがさき』設置事業		
	団体名	NPO法人障害者情報ネットワーク尼崎	市所管課	市民活動推進担当
	事業の趣旨・内容	尼崎市内では多くの市民活動団体がさまざまな分野で活動を行っているが、その活動に関する情報が網羅されたポータルサイトは存在しない。そこで、まちづくりに関する情報の共有化を一層進めるため、市民活動団体の名称・活動内容・連絡方法等の一覧表や市民活動イベントの最新情報掲載、市民活動カレンダー、市民活動団体及びイベント情報の検索のできるインターネットサイト「市民活動の広場あまがさき」を設置・維持する。		
	協働における行政の役割	サイト運営方針の策定、情報収集、広報、ホームページの助言、指摘、行政関係課への協力依頼 等		
協働における市民の役割	サイト運営方針の策定、サイト画面の設計・作成、サイトの維持運営、広報、サイトに関する意見収集・アンケート実施 等			

市民と行政のこれまでの動き

年月	できごと
平成23年 7月	・団体と市所管課の事前打ち合わせ(7/27、8/19、8/24)
平成23年 9月	・補助金交付決定・協定書締結
平成23年10月	・インターネットサイト「市民活動の広場あまがさき」開設
平成24年 3月	・アンケート実施
平成24年 4月	・行政提案型協働事業として継続実施
平成24年 5月	・データプログラム改定作業
平成25年 3月	終了(平成25年度から平成27年度まで市の事業として継続)

評価会議における意見など

1	<p>・協働の役割、主体の役割分担について共有されており、課題を把握、認識しながら、確実に成果を上げている。これからも頑張してほしい。</p>
2	<p>・尼崎市においても、市民活動支援センターが必要と思うが、本ポータルサイトは、団体の活動情報の提供やそれを通じての交流づくり、助成金情報の提供など、バーチャルな市民活動センターになっている。これを現実の市民活動センターに進化させていく基盤と考えられる。ポータルサイトの管理・運営は中間支援としての役割をしており、そのノウハウが現実の市民活動センターのノウハウにつながっていくと思う。</p>
3	<p>・市民活動団体に関する情報を増やすためには、尼崎市内のNPO法人にサイトでのPRを提案することやボランティアセンターなど、他の中間支援組織との連携も有効である。</p>
4	<p>・ポータルサイトを使ったことのない人にとってフォームの投稿は難しい。敷居を下げ、参加してもらうためにも投稿の仕方を教える講座を開いてはどうか。サイトへの馴染みも深くなり、使い手も増える。</p>
5	<p>・せっかく市民活動団体がポータルサイトを運営しているのだから、管理・運営についてもいろいろな挑戦を行ってもいいと思う。</p>

所管課意見

評価会議からの提案事項	意見
<p>・公益性という点で内容に問題がないかどうか客観的に評価するという意味で市役所の視点が重要である。市民活動団体にはもっと冒険してもらい、市役所側がブレーキをかける。その調整が上手くいくと、ちょうど中間ポイントになる。</p>	<p>・団体に色々と挑戦してもらい、市は公益性という観点で客観的に点検を行うことで、団体と市との協働によるメリットを生かしたポータルサイトを目指していきたい。 ・ポータルサイトの管理・運営において培ったノウハウを今後の事業展開に積極的に活用してもらうためにも、市民活動支援センター機能の設置も含め、今後の事業展開について検討していきたい。</p>

市 総括

<p>団体と市との役割分担が互いに共有されており、課題や成果についても十分に認識できている。ポータルサイトだけでなく、市民活動支援センター機能の設置も含め、今後の更なる事業の発展が期待できる。</p>
--

以上